

【3】 公民 の学習について

1 必修・自由選択科目について

- (1) 必修科目は「現代社会」です。
- (2) 自由選択科目は「倫理」「政治・経済」「時事一般常識」です。

2 履修上の注意点

午前部・午後部・夜間部とも「現代社会」を履修してください。

3 公民の各科目の履修順序

全ての科目において、同時に履修することができます。

※教科の特性上、「時事一般常識」は卒業年次で履修することを勧めます。

4 履修モデル（○必修 ●選択必修 ・自由選択）

午前・午後部

1年次	2年次	3・4年次
○現代社会	・倫理	・政治・経済 ・時事一般常識

夜間部

1年次	2年次	3・4年次
○現代社会		・時事一般常識

5 公民の教科目標、履修について

(1) 教科目標

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

(2) 評価観点及びその趣旨、方法

ア 観点及び趣旨

関心・意欲・態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。
思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用 の技能	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

イ 評価の方法

観点 \ 項目	達成評価	活動評価
関心・意欲・態度	考查	出席 教師の観察 自己評価
思考・判断・表現	考查	ノート
観察・実験の技能	考查	ワークシート 課題・宿題
知識・理解	考查	小テスト

(3) 実技・実習等

特にありません。

(4) 留意事項

特にありません。

教科 公 民

科 目 名		現代社会	単位数	2	履修区分	必修科目
対象の部	午前 午後 夜間		使用教科書		高等学校 新現代社会 （第一）（予定）	
			使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし		教材費等			
特 色	現代社会に関わる基本的な問題について、自ら考え公正に判断するための基礎知識と、社会的なものの見方を身につけます。					
主 な 学 習 内 容	① 現代社会に生きる私たちの課題 ・ 環境問題 ・ 福祉社会の諸問題 ② 現代社会と人間としての在り方 ・ 現代社会の特質 ・ 青年期の諸問題 ・ 現代経済 ・ 現代政治 ・ 国際社会の動向					
備 考	適宜、時事問題を取り上げます。毎日、新聞を読み、ニュースを見ること。					

科 目 名		倫理	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後	使用教科書		高等学校 現代倫理 新訂版 （清水）（予定）	
			使用教材		本校作成プリント	
履修の条件		特になし	教材費等			
特 色	① 古今東西の優れた思想を幅広く学び、それを手がかりとして「人間としての在り方」、「自己の生き方」を考えていきます。 ② 日常生活における様々なものごとについて、一つ一つより深く考えます。					
主 な 学 習 内 容	① 青年期の課題と自己形成 ② 源流思想 ③ 日本思想 ④ 近現代の西洋思想 ⑤ 現代の諸課題と倫理					
備 考						

教科 公 民

科 目 名		政治・経済	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後	使用教科書	高等学校 新政治・経済 (第一)(予定)			
			使用教材	本校作成プリント		
履修の条件	特になし	教材費等				
特 色	現代の政治・経済状況について、その成立過程や日々の時事問題も視野に入れて理解を深めていきます。「現代社会」よりも内容が深く、専門的です。					
主 な 学 習 内 容	① 現代の政治 ・民主政治の原理と日本国憲法 ・現代の国際政治 ② 現代の経済 ・経済社会の変容と現代経済のしくみ ・国民経済と国際経済 ③ 現代社会の諸問題ー応用政治・経済					
備 考	適宜、時事問題を取り上げます。毎日、新聞を読み、ニュースを見ること。					

科 目 名		時事一般常識	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書	社会入門（東書）（予定）		
			使用教材	本校作成プリント		
履修の条件		就職に向けた時事問題や一般常識も扱うため卒業年次での履修を勧める。	教材費等			
特 色	① 政治分野、経済分野の基本知識を確認しながら、就職に向けた時事問題や一般常識の演習を行います。 ② 時事テーマは新聞記事等を扱い、分かりやすく解説します。					
主 な 学 習 内 容	① 政治分野 ② 経済分野 ③ 国際分野 ④ 時事問題					
備 考						